

## 第7回 調布市基本構想策定推進市民会議 議事要旨

- 1 日 時：令和3年12月22日（水）19：00～21：00
- 2 場 所：調布市役所 5階会議室 ※オンライン（Zoom）も併用
- 3 出席者：【市民委員】  
秋元委員，大木委員，進藤委員，鈴木委員，竹中委員，吉葉委員，岩崎委員，  
大槻委員，小川委員，小山（弘）委員，森委員，山田（真）委員，木村委員，  
児島委員，小峯委員，小山（康）委員，白鳥委員，瀧柳委員，布目委員，林本委員  
【庁内委員】  
篠田委員，萩原委員，東海林（芳）委員，佐藤（葵）委員，佐藤（麻）委員，  
坂本委員，岩崎委員，長野委員，工藤委員，伊藤委員，山田（宙）委員，川名委員，  
五十子委員，長谷川委員，三上委員，穂積委員，権平委員，下妻委員，森木委員，  
高橋委員，東海林（一）委員，水越委員  
【アドバイザー】  
横山 泰治 氏（調布市参加と協働のまちづくりアドバイザー）  
【事務局】  
行政経営部）小柳部長，永井次長兼企画経営課長  
行政経営部企画経営課）伊藤担当課長，村上担当課長，河本担当課長，中山主幹，  
村岡課長補佐，後藤担当係長，石戸谷係長，福岡係長，  
栗野主査，飯田主査，森主任，田畑主事，長野主事，  
本間行政実務研修員（敬称略）
- 4 議 題：
  - (1) 開会
  - (2) 今後の検討スケジュールについて
  - (3) 分科会での協議
  - (4) 協議結果の共有
  - (5) 閉会
- 5 資 料：  
資料0 第7回調布市基本構想策定推進市民会議 次第  
資料1-1 策定までのスケジュール  
資料1-2 今後の検討イメージについて  
資料2 「まちづくりの方向性」と「基本的取組」について  
資料3 産学官連携会議の議論結果の共有について

6 議 事：

<b>1 開会</b>	
<b>2 今後の検討スケジュールについて</b>	
(事務局)	資料1-1及び資料1-2により、今後の検討スケジュール及び本日の分科会の議論の目標について説明。年度末に中間とりまとめを行い、年度明けの上半期中に、基本構想案として市長へ提出する予定。 併せて、資料3により、市内に所在する企業・大学等が、市政の課題について意見交換を行う場である「産学官連携会議」において、企業等の立場から見る「調布市の強みと弱み」について実施した意見交換の内容を共有。
<b>3 分科会での協議</b>	
(事務局)	<b>(各分科会に分かれ、議論)</b> リーダーまたはサブリーダーが進行。前回に引き続き、「まちづくりの方向性」と「強みを伸ばし、弱みを改善する基本的取組」について意見交換を実施。
<b>4 協議結果の共有</b>	
(事務局)	<b>(各分科会から全体会に戻り、全体に共有。意見・質問等)</b> 各分科会から、概要について全体に共有。その後、意見がある委員に発言いただいた。
(委員)	市内に住んでいるのは日本人だけではない。“国際性”が重要な要素だと思うので、次回以降、この要素を入れることができるよう心がけたい。
(委員)	分科会2の「地域コミュニティ・LGBTQ・国際交流」で、“誰もが心地よく”という話になったが、多様性を議論するに当たっては、障害者や高齢者を考慮しないといけない点で分科会1に通じるものがある。また、「産業・農業」では、農地の保全については分科会3の内容、発展については分科会2の内容であるということまで話をしている。
(委員)	分科会3は“誰のためなのか”が抜けるとハードのみの話になってしまう。分科会3で考えているハード的な内容を、分科会1でどのように使えるか検討できるとさらにいい議論が生まれると思う。
(委員)	分科会1に提案であるが、ケアラー支援をいれるのであればヤングケアラーも言及してほしい。ヤングケアラーは全国では話題であるが、市では動きが見られないので、この言葉をいれることで方針が変わればよいと期待する。
(委員)	入れることを是非検討したいと思う。また、LGBTQの内容も入れたいと思う。
<b>5 閉会</b>	
(事務局)	<b>(連絡事項の共有、閉会)</b> 次回の第8回市民会議の日程は調整中。議題等詳細は追って連絡する。また、3月下旬に開催する第10回は中間発表会を予定している。今回は、分野別の将来像について検討を進める。